

第3回 常任委員会 開催 (10月21日)

秋のとりのくみが各地域で元気一杯に進んでいます！

秋の取り組みは各地で進んでいます。宣伝カーによる「平和宣伝活動」は、10月1日から全県規模で始まりました。石岡～土浦～稲敷(10/1～・チラシ1000枚)、荖崎～つくばみらい(10/7～13・チラシ1000枚)、内原・友部・笠間(10/15～19)、水戸(10/20～24・チラシ500枚)、ひたちなか市～北茨城市～那珂市(10/25～11/1 終了)です。

さらに、筑西(10/7～8・結城市職の宣伝カーを使用)、結城(10/13～14・結城市職の宣伝カーを使用)、鹿行(10/22～予定・1～2日間実施・潮来市職の宣伝カーを使用)です。

東海村の宣伝は、現地と相談し、特別に街頭宣伝・チラシ配布の支援を行います。

○チラシ26,700枚の配布すすむ！

- ・美和・緒川(3700)・ひたちなか(1000以上)
- ・那珂(500)・内原(7000)・水戸西(2000)
- ・筑西(500)・鹿行(2000)・石岡(3000)
- ・土浦(1000)・守谷(1000以上)
- ・下館・結城(昨年並み)・古河(500枚+版下)

◆東海第二原発廃炉の

知事あて署名を進めよう！

- ・県民センターでは県知事あての署名を積算で30万筆の提出(7万筆の上乗せの)を進めています。県平和委員会では、1000筆集約しています。提出は11月中旬を予定しています。時間はまだまだありますので、一回りも二回りも大きな輪を広げてとりくみます。
- ・東海村議会へ意見を提出する。

オスプレイ

米軍普天間飛行場

密集地旋回繰り返し返す！合意ほご常態化！

米軍普天間飛行場に配備された米海兵隊の垂直離着陸輸送機MV22オスプレイは15日午後、2機が2時間半の長時間にわたって中南部一帯を大きく旋回する経路を計12回飛行し、那覇市、浦添市などの人口密集地上空を飛ぶ訓練を繰り返しました。日米合同委員会の合意で制限する市街地上空でのヘリモードや転換モードでの飛行も何度も確認され、合意に反する飛行が常態化している状態です。この無法を許すわけにはいきません。



【県民の強い反対の中、普天間飛行場に降下する米海兵隊の垂直離着陸輸送機MV22オスプレイ。後方左は沖縄国際大学＝1日午前11時46分、宜野湾市喜友名から(琉球新報)】



【浦添市仲間のマンション上空を飛行するMV22オスプレイ＝15日午後3時16分、浦添市民球場から(琉球新報)】

● 連帯し、学習会にこそって参加を！ ●

- とき：11月4日(日) 午後1時30分～4時
- ところ：グリーンパレス石岡
- テーマ：「オスプレイ配備拒否・普天間基地撤去」
- 講師：内藤 功 弁護士(日本平和委員会代表理事)
- 資料代：500円主 催：茨城県平和委員会

◆「オスプレイ拒否・普天間基地撤去」

(沖縄平和学習会)

「内藤功弁護士講演」 地域で呼びかけ、100人以上の参加で！

11月4日(日) 午後1時：開場 グリーンパレス石岡

◆「平和意見広告」賛同者は、個人1300名、団体130団体以上をやりきろう！

12月8日(土)の茨城新聞に全一面に掲載します。

◆今年は特にできが良い「平和ワイン」！ やっぱり国産ワインだ

◆平和大会は東京で開催【11月23日(金)～25日(日)】 地域から送り出そう！

◆組織強化と仲間づくりは草の根で 地域では3ヶ月に1人は迎えよう！

◆県平和委員会のHP(ホームページ)を11月から開設 楽しみ！

年末から年明けのとりのくみ

- 10月 街頭宣伝活動 + 仲間づくり
- 11月 新聞意見広告のとりのくみ + 仲間づくり
- 12月 平和ワイン普及のとりのくみ + 仲間づくり

平和新聞

2012年10月25日(木曜日)

2000号(毎月5,15,25日発行)

1950年12月16日第三種郵便物許可 発行 日本平和委員会
1部140円 月額400円 〒105-0014 東京都港区芝1-4-9 平和会館
(郵送料月額120円) 電話03(3451)6377 FAX03(3451)6277

平和かわら版 平和新聞茨城版 No. 638

2012.10/25

発行：茨城県平和委員会 〒310-0912 水戸市見川5-127-281
Tel/Fax 029-251-2806 E-mail ibahei@amber.plala.or.jp

日本原電事務所前の抗議行動に参加して

常陸太田平和の会 鈴木正彦



毎週金曜日首相官邸前の「反原発」抗議行動の連帯として、各県でも集まる場所・時間を決め抗議行動をしています。

私は、9月28日・10月5日の金曜日、午後6時から水戸県庁脇の(株)日本原子力発電事務所の前で「東海第2原発再稼働反対」「東海第2原発を廃炉」の抗議行動に参加しました。

思い思いのプラカードやゼッケンを、また、太鼓や笛、他の鳴りもの、核廃棄物を「うんち」にしたデコレーションと、参加者は様々な意思表示をしていました。(初回、私は用意しなかったので会場にあったプラカードを貰いアピールしました)。抗議行動は、参加者それぞれが「反原発」の思い・考えを述べ、シュプレスコールするというやり方でした。

「電力を作るのに『命』をかけるなんて馬鹿だ」とか「今でも放射能が出ている。子供達にどんどん蓄積されている。それでも何事も無かったように生活している親達がいる。知らせ

なければならない。」など。約1時間半、みんなの話を聞き、声をはりあげて来ました。

私の住んでいる人口5万4千人の常陸太田市は、東海第2原発から10キロ圏内に住む人が大多数、事故が起きれば、市民の避難は不可能です。しかも放射能汚染で住めなくなる市になるのです。なんとしても、廃炉にしなければなりません。

平和委員会も秋の全県一斉宣伝行動で、「脱原発」「東海第2原発再稼働反対・廃炉」をチラシ、音、署名等で呼びかけています。併せて、この抗議行動への参加も呼びかけています。

交通の便は良くないですが、「反原発」の人がここに1000人、万人と集まれば、大きな力になり廃炉に大前進します。これからは、暗く寒くなる時期ですが、1人でも多くの会員の参加を望みます。

皆さんー！風邪を引かぬよう暖かくして集まろう。



どれをとっても許せない！



原発再稼働

『規制委の安全判断さえあれば、地元工作を電力会社に任せ再稼働を自動的にすすめようとする』ことは許せません！

政府

責任押しつけ合い

原子力規制委員会

★ 原子力規制委員会の田中俊一委員長

「規制委は科学的、技術的見地から安全基準を満たしているかを確認する。稼働の判断とか地元への説得は事業者や省庁に担当していただくべきだ。(10月3日)」

★ 野田佳彦首相

「原子力規制委員会が安全基準をまとめ、それに基づき判断する。政治が介入して何か言うことは独立性を損なう」(9月21日)

沖縄で米兵が女性暴行

成人女性に暴行したとして沖縄県警捜査1課は、16日、集団性的暴行・致傷容疑で、米軍兵の男2人を緊急逮捕しました。被害にあった女性は警察の事情聴取に「許せない！」と訴えています。

繰り返される事件に心から怒り！

米兵によって沖縄県民の人権をじゅうりんする事件が繰り返され起こされています。沖縄の女性の人権を守ることなど米兵は全く考えていないのだということをはっきりあらわしています。安保条約、地位協定の下でこのような状況が起こっています。

安保っていったい何なんだ！

いま、沖縄をはじめ多くの国民の中に「安保って一体なんなんだ」という声が起こっています。

[シリーズ] わが街・わか会員

石岡市／高栖 敬さん (石岡平和の会)



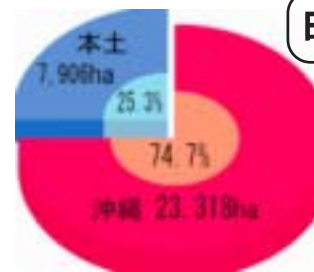
平和について思う



合併しない村づくりの長野栄村秋山郷を訪れる機会があった。この地に最初に人が住み着いた所と言われ秋山郷の名の発祥の地でもある。それが天明の飢饉で村が消失し、その跡が村の「地域の宝」として残されている。、天明3年(1783年)の凶作で八軒の家が減ったという説明書きから読み取れることはおそらく餓死したのであろうと推測される。この飢饉は数年続き、飢餓と共に疫病の流行で全国的には90万余の人口減を招いたと言われる。この原因は岩木山の大噴火、浅間山の大噴火による日照不足によるとされるが、世界的には、浅間噴火に先立ち、アイスランドで巨大噴火が相次ぎ、北半球全体に異常気象をもたらし、それがフランス革命の遠因になったとも言われる。

振り返って、東日本大震災の被害と、原発事故の大被害、天災が人災をもたらし、今なお放射能汚染で苦しんでいる。そしてこうした事実が日本社会を大きく変えようとする運動となって発展している。天災を防ぐことは出来なくても、その被害を少しでも少なくすることは出来ると思う。人災はその原因を明らかにすることで対応は出来る。ましてや人災の原発は、今の人間の力で制御出来ない事が判った以上廃止以外に道はない。現状の問題の原因をしっかりと明らかにする事と対策は一体でなければならないと思う。それが出来るかどうか、平和な社会の作るという営みは、こうした努力によって作られていくのだろうと思う。

日本の米軍基地



★ 米軍基地の75%が沖縄に集中している現実を変えていかなければ、末代までも同様な事件が繰り返されます。すべての日本国民にとって耐えがたいことです。